



## 国際理解・SDGsのための教育の研究

人間文化学部 国際文化学科  
教授 富田 和広 (とみた かずひろ)



連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1715号室  
Tel 082-251-5178 (代表) Fax 082-251-9405 (代表)  
E-mail [tomita@pu-hiroshima.ac.jp](mailto:tomita@pu-hiroshima.ac.jp) (@は半角に置き換えて下さい)

専門分野： 社会学

キーワード： SDGs, ESD, 開発教育, 多文化共生, 国際理解, アクティブラーニング, 中国社会, 日中比較, 模擬国連

### ● 主な取り組み・活動

<研究について>

\* SDGsの参加型教育、特にゲーミング教材開発、ふりかえり手法、評価方法について研究しています。

\* 日本・中国をフィールドとして、それぞれの社会の現代的特質の解明に取り組んでいます。具体的なテーマとしては、「日本の青少年の社会的性格」「日本家族の機能と役割」「日中のナルシスティックな家族観・子供観」「中国家族の教育戦略」「中国家族の相続」「日中の消費文化」「ブランド子供服・育児雑誌の日中比較」などです。

\* 「都市家族におけるサービス化現象の展開に関する実証的研究」(1997-9) 今日のサービス化現象は、産業構造の変化にとどまらず、生活全体のサービス化を出現させています。サービス化の進展は、家族的親密性を今後いっそう家族の内外にわたって広く拡張させ希薄なものトさせていく可能性があります。外部のサービスを主体的に選択していたはずの個人は、いつの間にかこのようなサービス提供システムに付属してしまうようになります。

<教育について>

\* ESDの観点から、様々なアクティビティを組み合わせて実践しています。

### ● 今後の目標・抱負

\* 広島におけるSDGsの達成のための人材開

発、そのための教材開発や教育について取り組み、学校外での新しい学びの場についても考えていきたいと考えています。

### ● 地域・社会と連携して進めたい内容

\* SDGs達成のための教材開発や指導者の育成について、ネットワークを広げて進めていきたいです。

### ● これまでの連携事例・実績

\* 国土交通省中国地方整備局「若手事務官を対象にした仕事センス向上プロジェクト」「新任専門官研修」、広島県ユニセフ協会「ユニセフ講座」、ひろしま国際センター「グローバル人財養成講座」「留学生による伝える HIROSHIMA プロジェクト」、JICA 中国「国際教育研修会」「教師海外研修事前研修」「教師海外研修帰国後研修」、エソールひろしま大学専科、広島市五日市小学校での開発教育の講義(社会科)、広島女学院大学・2011 ヒロシマピースセミナー、(社)青少年育成広島県民会議「青少年育成カレッジ」、三原シティカレッジ講座、広島市美隅公民館「いまこそ家族」、岩国市中央公民館短期講座「東アジアの自然観」、福山地区社会教育連絡協議会「福山地区女性団体指導者研修会」、TSS 文化大学、(財)広島県女性会議・ひろしま女性大学人材養成課程学習会、兵庫県社会福祉協議会母子・婦人相談員研修、兵庫県社会福祉研修所保育所保母課題別研修

\* 県内の研究グループとのSDGsのための教材の共同開発